

交通災害共済

家族みんなで加入しましょう

〈市民相談室で申込受付中〉

県内の市町村でつくっている「交通災害共済組合」では、加入者のうち、不幸にして交通事故にみまわれた方に共済金を支払う事業を行なっています。

まい日のごとく、交通事故のいたましいニュースが報道されており、いつ、どこで、だれが事故にあうか予測

できないこのごろです。

万一の事故にそなえ、家族そろって加入いたしましう。市の市民相談室では、いま、46年度(46年4月1日～47年3月31日)の加入申し込みを受け付けておりますから、早やめに加入の手続きをして下さい。

◆あてはまる交通事故……自転車による事故も含みます。

- ①日本国内で、自動車、オートバイ、自転車、トロリーバスなどに乗車中または歩行中に、これらの車によって事故が起こり、死んだり、けがをしたとき
- ②踏切道で、汽車、電車などに接触または衝突して、死んだり、けがをしたとき。

◆掛金……小学1年生には全額市で負担します。

- ①ひとり年額 300円
- ②小、中学生 250円(50円は市が負担)
- ③小学校の新入生には、全額市負担します。

◆共済金は

- ①死亡したとき — 50万円
- ②6か月以上治療を要する傷害 — 10万円
- ③3か月以上 " — 5万円
- ④2か月以上 " — 2万円
- ⑤1か月以上 " — 1万円
- ⑥1週間以上 " — 5千円

(注) 災害共済金が支払われないものに本人みずから「自殺、無免許運転、故意、および酒気をおびて運転した場合」などの事故があります。

45年度の加入

共済金支払状況 (46年2月15日現在)

〈加入者は14,094人に〉

先月の2月15日現在、交通災害共済に加入した市民は14,094人で、国勢調査人口74,942人のうち、18.8%にとどまっています。しかし、44年度の加入者総数が6,889人であったのに比べ、今年度は2倍も加入者が増えています。このことは年々この共済制度が市民の間に認識されてきたためと考えております。新年度には、さらに共済制度のPRに力を入れ「全市民の50%加入にこぎつきたい」と市民相談室の意気はさかんです。

〈42人に共済金を支給〉

昨年4月から、今年2月15日の間に市内で起きた交通事故で、死亡者9人、けが人が607人も出ております。

しかし、災害共済に加入していない人がほとんどでしたが、この616人のうち、幸い災害共済に加入していた42人の方に共済金が支払われました。その総額は178万円になっています。

◎支払われた共済金

死亡	2人	(100万円)
6か月以上の治療	1人	(10万円)
3か月以上 "	7人	(35万円)
2か月以上 "	3人	(6万円)
1か月以上 "	15人	(15万円)
1週間以上 "	24人	(12万円)

目と耳の広報

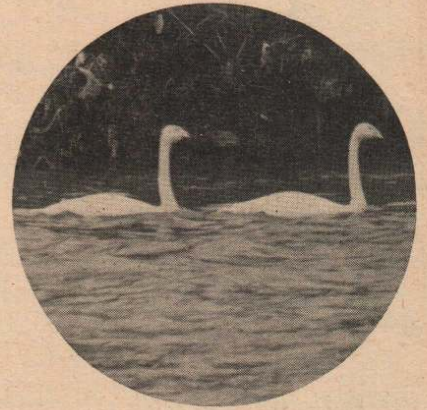
AKT 大館市の時間



毎週金曜日、午前7時20分から5分間、秋田テレビ(UHF)で大館市の時間が放送されています。花岡中学校女子合唱団が歌う市民歌をバックに、市のできごと、催しもの、お知らせなど、美しいカラーで放送しています。

月1回発行の広報紙で間にあわない大切なお知らせなどもありますので、できるだけ視聴ください。

白鳥のおとずれ



(写真) 2月18日午後2時写す

2月10日ごろから、2羽の白鳥が大滝温泉(大滝橋から下流300mの米代川)で秘かに休息している。

この2羽は、昨年の冬もおとずれたという話ですから、よほど大館が気に入ったらしい。

ムレをなしてとんで来る、というより、むしろカップルの来飛のほうが、かえってほほえましいし、一段と優美さを感じる。さしずめ、白鳥のハネムーンといったところだが、らい冬は、子どもづれでおとずれて欲しいものだ。まだ、しばらくの間滞るするらしいので皆さんの鑑賞をおすすめします。

市長の1日葉たばこ収納所長



(写真) 左が渡辺支局長・左から3人目が石川市長

市内の葉たばこ収納は、2月2日からじまった。2月4日には、専売公社から1日所長に委嘱された石川市長は、渡辺秋田専売公社支局長から大館の葉たばこ生産状況などの説明を受けたあと、所内を一巡、作業員や生産者を激励しました。

大館市内の葉たばこ耕作面積は10ヘクタール、10アール当たり平均119,000円の収入があり有望な農作物とされており、最近市内に生まれている新しいたばこ「チェリー」の原材は大館産の葉たばここといわれています。

カメラ散歩

市民スキー大会・好天に激戦相つぐ

2月14日、第15回市民スキー大会は春を思わせる好天気の中で参加600選手の激戦がくり広げられた。

例にもれず、今年も一般の参加者はごく数えるほど、この日はまるで、小、中学校の学校対抗戦といったところ——結局、小学校対抗では、技とスタミナ(PTAが選手たちにごちそうした手づくりの肉汁?によるものと思われる)にまさる城南小学校が2位以下を大きく引きはなして4連勝し、中学校では矢立中が優勝しました。

市民スキー大会、今年も盛会そのものであったが、やはり一般市民の少ない参加が気になります。らい冬の大会にはたくさんの方々が出場して下さるよう、期待します。



(写真上)カッコイイではありませんか将来を期待したい(写真左上)よくやった!選手とももただ感激の涙あるのみ——ママの苦勞も多い